

代替サービスの提供における留意点について
【通所系及び入所施設・居住系サービス】

1 対象サービス

生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援 A・B 型、施設入所支援、
共同生活援助

2 代替サービスの提供について

利用者の居宅等における代替サービスの提供について、下記の「共通要件」及び「サービス別の要件」をすべて満たした場合は、本体報酬の算定を可能とします。

なお、各要件のうち、下線部が新規追加または変更した箇所です。

また、作業活動・訓練等についての具体的な事例は「3 作業活動・訓練等の具体例について」を参考にしてください。

【共通要件】

利用者または家族が代替サービスの提供を希望していること。

事業所の判断のみで利用者全員に代替サービスの提供を強要しないこと。

作業活動・訓練等を行う場合は、利用者の意向や能力に沿ったものであること。

サービス提供の内容や時間等を記載した日報を作成すること。

緊急時には利用者の居宅を訪問する等の対応を行うこと。

代替サービスの利用により、利用者負担が発生することについて、利用者または家族に同意を得ること。

【サービス別の要件】

サービス種別		要件
通所系	(就労系サービス) ・就労移行支援 ・就労継続支援 A 型 ・就労継続支援 B 型	ア. 作業活動・訓練等を提供すること。 イ. 1 日 2 回以上の電話連絡等により、作業活動・訓練等の進捗状況の確認、健康管理及び相談支援を行うこと。
	(その他) ・生活介護 ・自立訓練	ア. 作業活動・訓練等を提供すること。 <u>ただし、利用者の状況等により、作業活動・訓練等の提供が困難である場合は、提供しないことも可とする。</u> イ. 1 日 2 回以上の電話連絡等により、作業活動・訓練等の進捗状況の確認、健康管理及び相談支援を行うこと。 <u>ただし、利用者や家族の状況等により、2 回以上の電話連絡等が困難である場合、1 回以上でも可とする。</u>
入所・居住系	・施設入所支援 ・共同生活援助	<u>・1 日 2 回以上の電話連絡等により、健康管理及び相談支援を行うこと。ただし、利用者や家族の状況等により、2 回以上の電話連絡等が困難である場合、1 回以上でも可とする。</u>

3 作業活動・訓練等の具体例について 通所系サービスのみ

代替サービスを提供する際の作業活動・訓練等については、下記の具体例を参考とした上で、利用者の状況や希望に応じて提供してください。

（具体例）

○軽作業の提供

技能の向上等を目的として軽作業（部品等の組み立て等）を提供する。

○学習課題の提供

利用者の状況や目標に合った学習課題（ビジネスマナー、パソコン技術、漢字や計算ドリル等）を提供する。

○在宅中の活動内容の提供

清掃や洗濯等の日常生活における活動内容について、具体的な手順やスケジュールを提供する。

○機能訓練プログラムの提供

通常利用時において、ストレッチやマッサージを受けている利用者に対して、実施可能な機能訓練メニューを提供する。

4 注意事項

- ・メールやLINE等での連絡は、利用者や家族の声や表情から思いを汲み取りながら、必要な助言などを行うことが困難であるため、原則として電話や訪問等にて行ってください。
- ・代替サービスの提供に当たっては、原則として、通常のサービス提供時間帯において実施してください。
- ・代替サービスの提供に当たっては、通常想定される利用回数を超えないよう、利用者や家族と調整してください。
- ・利用者の居宅等を訪問する場合は、訪問時間を可能な限り短くできるよう工夫を行ってください。
- ・本取扱いにつきましては、本市支給決定者を対象としたものであること、また今後、国から新たな方針等が示された場合は変更となる場合があることについて、あらかじめご了承ください。
- ・「新型コロナウイルス感染症に係る障害福祉サービス等事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて（第5報）」（令和2年4月28日付け厚生労働省事務連絡）に運営基準等にかかるQ & Aが示されておりますので、ご参照ください。